

IBM Tivoli Netcool/
OMNibus 向け
Dell OpenManage
Connection 1.0
ユーザーズガイド



メモ



メモ：コンピュータを使いやすいするための重要な情報を説明しています。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2011 すべての著作権は Dell Inc. にあります。

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書に使用されている商標：Dell™、Dell のロゴ、Dell EqualLogic™、OpenManage™、PowerEdge™、および PowerVault™ は Dell Inc. の商標です。Microsoft® および Windows® は米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。VMware® および ESX Server™ は、米国および/またはその他の法域における VMware, Inc. の登録商標です。SUSE® は米国およびその他の国における Novell, Inc. の登録商標です。IBM Tivoli® Netcool®/OMNibus は、米国および/またはその他の国における IBM Corporation の登録商標です。SUSE® は米国およびその他の国における Novell, Inc. の登録商標です。Red Hat Enterprise Linux® は米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標です。Linux® は Linus Torvalds の登録商標です。

商標または製品の権利を主張する事業体を表すためにその他の商標および社名が使用されていることがあります。それらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に帰属するものではありません。

2011年9月

目次

1	概要	5
	主な機能	5
	Netcool/OMNIbus のサポートマトリクス	6
	Dell デバイスのサポートマトリクス	6
2	IBM Tivoli Netcool/OMNIbus 向け Dell OpenManage Connection の 使い方	9
	SNMP トラップを使用したイベント監視	9
	OMSA 警告グループ	10
	OMSS 警告グループ	11
	EqualLogic 警告グループ	13
	イベントの重大度の理解	14
	自動イベント関連	15
	Dell OpenManage Server Administrator コンソールの起動	16
	Open Manage Server Administrator ウェブサーバーコンソールの起動	17
	EqualLogic Group Manager コンソールの 起動	18

	デスクトップイベントリストへのアクセス	19
	アクティブイベントリストへのアクセス	19
3	トラブルシューティング	21
	Dell サーバーイベントが Netcool/OMNIBus コンソールで受信されない	21
	Dell EqualLogic イベントが Netcool/OMNIBus コンソールで受信されない	22
	Dell OpenManage Server Administrator イベントが相関されない	23
	Dell EqualLogic イベントが相関されない	23
	Web GUI 統合のインポート中のエラー	23
	CGI スクリプトを使用した OMSA コンソールの 起動での問題	23
	Windows での MTTrapd プロブ再起動の 問題	23
4	関連文書およびリソース	25
	その他の必要マニュアル	25
	テクニカルサポートの利用方法	25
A	付録	27
	EqualLogic 警告相関	27

概要

IBM Tivoli Netcool/OMNIBus 向け Dell OpenManage Connection は、Dell サーバーと Dell EqualLogic システムにイベント監視機能を提供します。このガイドは、IBM Tivoli Netcool/OMNIBus 7.3.1 に詳しいシステム管理者を対象としています。Dell OpenManage Connection は、Netcool/OMNIBus コンソールで警告を受信して Dell デバイスを監視します。

主な機能

表 1-1 には、Dell OpenManage Connection の主な機能がリストされています。

表 1-1 機能と特徴

機能	機能性
イベント監視	Dell サーバーおよび Dell EqualLogic システムからのイベントを Netcool/OMNIBus コンソールで監視します。詳細については、 SNMP トラップを使用したイベント監視 を参照してください。
自動イベント関連	Dell サーバーと Dell EqualLogic からのイベントを自動的に関連付けます。詳細については、 自動イベント関連 を参照してください。
OpenManage Server Administrator (OMSA) コンソールの起動	監視している Dell システムのための OMSA コンソールを起動します。詳細については、 Dell OpenManage Server Administrator コンソールの起動 を参照してください。
OMSA ウェブサーバーコンソールの起動	監視している Dell システムのための OMSA ウェブサーバーコンソールを起動します。詳細については、 Open Manage Server Administrator ウェブサーバーコンソールの起動 を参照してください。
EqualLogic Group Manager コンソールの起動	監視している Dell EqualLogic システムのための EqualLogic Group Manager コンソールを起動します。詳細については、 EqualLogic Group Manager コンソールの起動 を参照してください。

Netcool/OMNibus のサポートマトリクス

Netcool/OMNibus コンポーネントでサポートされているオペレーティングシステムの詳細については、publib.boulder.ibm.com/infocenter/tivihelp/v8r1/index.jsp?topic=/com.ibm.netcool_OMNibus.doc_7.3.1/welcome.htm で、Netcool/OMNibus 7.3.1 のマニュアルを参照してください。

Dell デバイスのサポートマトリクス

Dell OpenManage Connection は、Netcool/OMNibus コンソール上で Dell サーバーおよび EqualLogic システムを監視します。表 1-2 には、サポートされている Dell デバイス、OMSA バージョン、EqualLogic システムのファームウェアバージョンおよび、監視対象デバイスのオペレーティングシステムがリストされています。

表 1-2 Dell デバイスのサポートマトリクス

サポートされる Dell デバイス	サポートされる OMSA バージョン	サポートされるファームウェアバージョン	サポートされるオペレーティングシステム
Dell PowerEdge および PowerVault x8xx ~ xx1x システム (Windows)	6.1 ~ 6.5	-	<ul style="list-style-type: none">• Microsoft Windows Small Business Server 2011• Windows Small Business Server 2008 SP2• Windows Small Business Server 2008 R2• Windows Small Business Server 2003 R2 SP2• Windows Storage Server 2008 SP2• Windows Storage Server 2003 R2• Windows Storage Server 2003 R2

表 1-2 Dell デバイスのサポートマトリクス (続き)

サポートされる Dell デバイス	サポートされる OMSA バージョン	サポートされる ファームウェア バージョン	サポートされるオペレーティングシステム
Dell PowerEdge および PowerVault x8xx ~ xx1x システム (Windows) (続き)			<ul style="list-style-type: none"> • Windows Server 2008 SP1 (32 ビットおよび 64 ビット) • Windows Server 2008 SP2 (32 ビットおよび 64 ビット) • Windows Server 2008 R1 および R2 (HPC Edition) • Windows Server 2008 R2 (64 ビット) • Windows Server 2008 R2 SP1 (64 ビット) • Windows Server 2003 R2 (32 ビットおよび 64 ビット) • Windows Essential Business Server 2008 SP1 • Windows Server 2003 (Computer Cluster Edition) • Windows Unified DataStorage Server (64 ビット)
Dell PowerEdge x8xx ~ xx1x システム (Linux)	6.1 ~ 6.5	-	<ul style="list-style-type: none"> • SUSE Linux Enterprise Server 11 SP1 (64 ビット) • SUSE Linux Enterprise Server 10 SP3 (64 ビット) • Red Hat Enterprise Linux 6.0 (64 ビット) • Red Hat Enterprise Linux 5.5 (64 ビット および 32 ビット)

表 1-2 Dell デバイスのサポートマトリクス (続き)

サポートされる Dell デバイス	サポートされる OMSA バージョン	サポートされる ファームウェア バージョン	サポートされるオペレーティングシステム
Dell PowerEdge および PowerVault x8xx ~ xx1x システム (Linux) (続き)			<ul style="list-style-type: none"> Red Hat Enterprise Linux 5.3 (64 ビット および 32 ビット) Red Hat Enterprise Linux 4.8 (64 ビット および 32 ビット) Red Hat Enterprise Linux 5.0 (64 ビット および 32 ビット) Red Hat Enterprise Linux 4.7 (64 ビット および 32 ビット)
Dell PowerEdge x8xx ~ xx1x システム (ESXi)	6.1 ~ 6.5	-	<ul style="list-style-type: none"> ESXi 4.1 U1 (HDD および Flash) ESXi 4.0 U3 (HDD および Flash) ESXi 4.0 U2 (HDD および Flash) ESXi 4.0 U1 (HDD および Flash)
Dell EqualLogic ストレージアレイ	-	5.0 および 5.1	-

IBM Tivoli Netcool/OMNIBus 向け Dell OpenManage Connection の使い方

IBM Tivoli Netcool/OMNIBus 向け Dell OpenManage Connection では、Netcool/OMNIBus 上でのイベント監視、自動イベント相関、およびデバイスコンソールの起動が可能になります。これらの機能は、プローブ、ObjectServer Web GUI、デスクトップなどの Netcool/OMNIBus の様々なコンポーネントでサポートされています。本章では、Dell OpenManage Connection のインストール後に実行できる、多様な操作をを説明します。Dell OpenManage Connection のインストールの詳細については、support.dell.com/manuals で、『Dell OpenManage Connection Version 1.0 for IBM Tivoli Netcool/OMNIBus インストールガイド』を参照してください。

SNMP トラップを使用したイベント監視

Dell OpenManage Connection は、Netcool/OMNIBus コンソール上の Dell デバイスから SNMP トラップを受信することによって、Dell サーバーおよび Dell EqualLogic システムを監視します。システムの監視には、デスクトップとウェブグラフィカルユーザーインターフェース（GUI）クライアントの両方を使用することができます。

 **メモ：** Netcool/OMNIBus コンソール上の多数のデバイスを区別するために、Dell デバイスにはクラス値が割り当てられています。Dell サーバーと Dell EqualLogic システムのクラス値はそれぞれ、2080 と 2085 です。

イベント監視処理は、次のように進行します。

- 1 SNMP プロブが、Dell サーバーまたは Dell EqualLogic システムから SNMP を受信します。
- 2 SNMP プロブが、Dell デバイスからのトラップをフィルタリングする規則を使用してトラップをイベントに変換し、イベントフィールドに適切な値を投入します。
- 3 SNMP プロブが、イベントを ObjectServer に転送します。
- 4 ObjectServer との通信により、デスクトップおよび Web GUI コンソールにイベントが表示されます。

OMSA 警告グループ

OpenManage Server Administrator (OMSA) 警告は、OMSA によって生成され Netcool/OMNIBus コンソールに表示されるイベントです。表 2-1 には、OMSA 警告がリストされています。

表 2-1 OMSA 警告グループ

警告グループ	説明
ACPowerCord	AC スイッチをサポートするシステムの AC 電源スイッチの電源コードステータス情報を提供します。
AmperageProbe	特定のシャーシ内の電流センサーのステータス情報を提供します。
Battery	特定のシャーシ内のバッテリーのステータス情報を提供します。
ChassisIntrusion	シャーシが開かれた時に通知を行います。
CoolingDevice	特定のシャーシ内のファンのステータス情報を提供します。
Device	メモリカード等のデバイスが取り付けまたは取り外された時、ステータスおよびエラー情報を提供します。
FanEnclosure	エンクロージャ内の異物の有無、およびシャーシからファンエンクロージャが外されている時間の長さを監視します。
HardwareLog	満杯になり、ステータスの損失メッセージにつながる可能性のある非循環系ログに関するステータスおよび警告情報を示します。
MemoryDevice	特定のシステム内に存在するメモリモジュールのステータスおよび警告情報を提供します。
Miscellaneous-AutomaticSystem Recovery	ハング状態にあるオペレーティングシステムが原因でシステムの自動回復処置が実行されると、その情報を提供します。
Miscellaneous-SystemPeakPower NewPeak	システムのピーク電力センサーが新規のピーク値を検出すると、情報が提供されます。
Miscellaneous-SystemSoftwareEvent	OMSA が、IPMI System Event Log (SEL) 内でシステムソフトウェア生成の重大イベントを検出すると、解決済みの可能性があってもその情報が提供されます。
Miscellaneous-SystemUp	OMSA が初期化が終了すると、情報が提供されます。

表 2-1 OMSA 警告グループ (続き)

警告グループ	説明
Miscellaneous-ThermalShutdown	温度が最大しきい値を超過し、システムがシャットダウンすると、その情報が提供されます。
Miscellaneous-UserHostSystemReset	ユーザーがシステムの再起動、電源オフ、または電源サイクルを行うホストシステムコントロール処置を要求すると、その情報が提供されます。
PowerSupply	特定のシャーシ内に存在する電源装置のステータスおよび警告情報を提供します。
ProcessorDeviceStatus	特定のシャーシ内に存在するプロセッサのステータスおよび警告情報を提供します。
Redundancy	冗長性ユニット情報を提供します。
SDCardDevice	シャーシ内に存在する SD カードデバイスのステータスおよびエラー情報を提供します。
TemperatureProbe	シャーシ内の温度が高くなり過ぎると、重要コンポーネントを保護するためのヘルプを提供します。
VoltageProbe	特定のシャーシ内に存在する電圧センサのステータスおよび警告情報を提供します。

OMSS 警告グループ

OpenManage Storage Systems (OMSS) 警告は、OMSS によって生成され Netcool/OMNIBus コンソールに表示されるイベントです。表 2-2 には、OMSS 警告がリストされています。

表 2-2 OMSS 警告グループ

警告グループ	説明
Battery	コントローラ内のバッテリーのステータスです。バッテリー警告は、バッテリーの修正、充電、温度、交換、学習サイクル、学習モード、動作などに関する情報を提供します。
Channel	メモ리카ードなどのプラグイン式デバイスの取り付け、取り外し、設定エラー、およびステータスを提供します。

表 2-2 OMSS 警告グループ (続き)

警告グループ	説明
Contoroller	ストレージコントローラタスクのステータスを提供します。コントローラ警告は、再構築率、アラームステータス、設定ステータス、バックグラウンド初期化率、巡回読み取り率、整合性チェック率、冗長バス、外部設定、ディスクステータス、不良ブロック、ECC エラーなどの情報を提供します。
EMM	コントローラのエンクロージャ管理モジュールのステータスを提供します。
Enclosure	エンクロージャ内コンポーネントのステータスを提供します。エンクロージャ警告は、エンクロージャ、アラーム、アセットタグ、サービスタグなどのステータス情報を提供します。
Fan	ファンの動作状態に関する情報を提供します。ファン警告は、特定のエンクロージャ内にあるファンのステータス情報を提供しません。
PhysicalDisk	再構築、ホットスワップ、点滅、クリア操作、メンバー交換操作などの物理ディスク上の動作についての情報を提供します。
PowerSupply	システム上のエンクロージャの電源装置ステータス情報を提供します。
Redundancy	冗長デバイスのステータスを提供します。
SystemLevel	システムのコントローラのステータスを提供します。
TemperatureProbe	エンクロージャ内プローブの温度ステータスを提供します。温度プローブの警告は、エンクロージャ内の温度が高くなり過ぎた時に警告することで、重要コンポーネントの保護に役立ちます。
VirtualDisk	仮想ディスクタスクのステータス情報を提供します。仮想ディスク警告は、初期化、フォーマット、設定、再構築、バックグラウンド初期化、冗長性などについての情報を提供します。

EqualLogic 警告グループ

EqualLogic 警告は、Dell EqualLogic システムによって生成され Netcool/OMNibus に表示されるイベントです。表 2-3 には、EqualLogic 警告がリストされています。

表 2-3 EqualLogic 警告グループ

警告グループ	説明
BatteryLessThan72Hours	バッテリー残量が、72 時間の停電に耐えられないという情報を提供します。
BothFanTraysRemoved	メンバのファントレイ両方がシャーシから取り外されたという情報を提供します。
ChannelBothFailed	チャンネルカード両方に障害が発生したという情報を提供します。
ChannelBothMissing	チャンネルカード両方が欠落しているという情報を提供します。
EIPFailureCondition	チャンネルカード内の EIP に障害が発生しているという情報を提供します。
EmmLinkFailure	エンクロージャ管理モジュール (EMM) へのリンクに失敗したという情報を提供します。
EnclosureOpenPerm	エンクロージャが長時間開放されたままになっているという情報を提供します。
FanSpeedThreshold	ファン回転速度が最低または最高しきい値を超過したという情報を提供します。
FanTrayRemoved	メンバのファントレイのひとつがシャーシから取り外されたという情報を提供します。
HighBatteryTemperature	バッテリー温度が高温になっているという情報を提供します。
HwComponentFailedCrit	メンバの重要ハードウェアコンポーネントが故障したという情報を提供します。
IncompatControlModule	シャーシに誤ったコントロールモジュールが挿入されたという情報を提供します。
LowAmbientTemp	1 つ、または複数のセンサーが重大温度範囲を下回っているという情報を提供します。

表 2-3 EqualLogic 警告グループ (続き)

警告グループ	説明
MultipleRAIDSets	有効な RAID セットが複数検出されたという情報を提供します。
NVRAMBatteryFailed	NVRAM のバッテリーが故障して使用できなくなっているという情報を提供します。
OpsPanelFailure	Ops パネルが欠落または損傷しているという情報を提供します。
PowerSupply	電源装置でエラーが検出されたという情報を提供します。
PowerSupplyFan	電源装置モジュールのファンが故障したという情報を提供します。
RAIDLostCache	RAID ドライバがバッテリーでバックアップされたキャッシュを回復できないという情報を提供します。
RAIDOrphanCache	RAID ドライバが見つけたバッテリーでバックアップされたキャッシュにデータに対応するディスクアレイがないという情報を提供します。
RAIDSetDoubleFaulted	RAID セット内で二重障害が検出されたという情報を提供します。
RAIDSetLostBlkTableFull	RAID の喪失ブロックテーブルが満杯だという情報を提供します。
TempSensorThreshold	温度センサーが最高または最低しきい値を超過したという情報を提供します。
DiskStatus	EqualLogic ディスクのステータスが変更されたという情報を提供します。

イベントの重大度の理解

ObjectServer に転送されたイベントは、次のいずれかの重大度で Netcool/OMNibus コンソールに表示されます。

- **Normal** (正常) — 電源装置の電源投入やセンサーの読み取り値が正常に戻るなど、コンポーネントの正常な動作を示すイベント。
- **Warning** (警告) — 必ずしも重要ではないが、警告しきい値を超えるなど、将来的に問題が発生する可能性があるイベント。

- **Critical** (重要) — エラーしきい値を超えたり、ハードウェアの故障など、実際のまたは差し迫るデータ損失や機能喪失を示すイベント。
- **Indeterminate** (不確定) — 重大度が不明なイベント また、問題イベントをクリアする解決イベントは、イベントの警告タイプが **Resolution** の場合、先に不確定と表示された後、正常に変更されます。

自動イベント相関

Dell OpenManage Connection は、Dell サーバーおよび EqualLogic 上でのイベントの自動相関をサポートしています。ObjectServer が OMSA、OMSS または EqualLogic のイベントを受信すると、イベントを相関するために適切なトリガが自動で起動されます。

Dell OpenManage Connection では、次のイベントが自動相関されます。

- 問題イベントとこれに対応するクリアイベント：OMSA、OMSS、および EqualLogic の各イベントが、このイベント相関をサポートしています。**IBM generic_clear** トリガは、問題が修正された時に、OMSA、OMSS および EqualLogic イベントに対応するクリアイベントとを関連付けます。
- 問題イベントと別の問題イベント。OMSA および EqualLogic のイベントが、このイベント相関をサポートしています。**dell_omsa_clear** トリガは、別の OMSA 問題イベントごとに問題イベントを関連付けます。**dell_equallogic_clear** トリガは、EqualLogic 問題イベントを関連付けます。
- 重複問題イベントと別の問題イベント：OMSA および EqualLogic のイベントが、このイベント相関をサポートしています。**dell_omsa_deduplicate_clear** トリガは、OMSA 問題イベントを関連付けます。**dell_equallogic_deduplicate_clear** トリガは、EqualLogic 問題イベントを関連付けます。



メモ：Netcool/OMNIbus は正常イベントを定期的クリアするため、正常イベントと正常イベントの相関はサポートされていません。OMSA および OMSS のイベント相関の詳細については、support.dell.com で、『Dell OpenManage Server Administrator メッセージリファレンスガイド』を参照してください。EqualLogic イベント相関の詳細については、[付録](#)を参照してください。

Dell OpenManage Server Administrator コンソールの起動

Dell OpenManage Connection では、監視している Dell システムについてより多くの情報を取得できる OMSA コンソールの起動が可能になります。OMSA コンソールは、デスクトップイベントリスト、または Web GUI のアクティブイベントリストから起動できます。



メモ：Common Gateway Interface (CGI) スクリプトの実行には、Perl が必要です。Perl が標準のインストール場所以外にインストールされている場合、CGI スクリプトは正しく動作しません。CGI スクリプト内のリソースへのパスが正しいことを常に確認するようにしてください。Windows および Linux オペレーティングシステムを実行しているシステム上の Perl の標準インストール場所は、それぞれ **C:\Perl\bin\perl.exe** および **/usr/bin/perl** です。詳細については、『IBM Tivoli Netcool/OMNIBus 管理ガイド』を参照してください。

デスクトップイベントリストから OMSA コンソールを起動するには、次の手順を実行します。

- 1 デスクトップイベントリストにアクセスします。詳細については、[デスクトップイベントリストへのアクセス](#)を参照してください。
- 2 イベントリストで、Dell サーバーイベントを右クリックします。
- 3 表示されるオプションから、**Dell Tools** (Dell ツール) → **Launch Dell Server Administrator Console** (Dell Server Administrator コンソールの起動) とクリックします。

Windows オペレーティングシステムを実行しているシステムでは、OMSA コンソールがデフォルトのブラウザで起動されます。Linux オペレーティングシステムを実行しているシステムでは、OMSA コンソールが **\$OMNIBROWSER** 環境変数で設定されたブラウザアプリケーションで起動されます。

Web GUI から OMSA コンソールを起動するには、次の手順を実行します。

- 1 アクティブイベントリストにアクセスします。詳細については、[アクティブイベントリストへのアクセス](#)を参照してください。
- 2 **アクティブイベントリスト** で、Dell サーバーイベントを右クリックします。
- 3 表示されるオプションから、**Dell Tools** (Dell ツール) → **Launch Dell Server Administrator Console** (Dell Server Administrator コンソールの起動) とクリックします。

OMSA コンソールがデフォルトのブラウザで起動されます。

Open Manage Server Administrator ウェブサーバーコンソールの起動

Dell OpenManage Connection では、監視している Dell システムについてより多くの情報を取得できる OMSA コンソールの起動が可能になります。OMSA ウェブサーバーコンソールは、デスクトップイベントリスト、または Windows、Linux、ESXi の各オペレーティングシステムを実行しているシステムの Web GUI のアクティブイベントリストから起動できます。



メモ : OMSA ウェブサーバーコンソールは、Dell システムへの OMSA インストール時に **Remote Enablement** を有効にしている場合に限り、Windows または Linux オペレーティングシステムを実行しているシステム上で起動できます。

デスクトップイベントリストから OMSA ウェブサーバーコンソールを起動するには、次の手順を実行します。

- 1 デスクトップイベントリストにアクセスします。詳細については、[デスクトップイベントリストへのアクセス](#)を参照してください。
- 2 イベントリストで、Dell サーバーイベントを右クリックします。
- 3 表示されるオプションから、**Dell Tools** (Dell ツール) → **Launch Dell Server Administrator Web Server Console** (Dell Server Administrator ウェブサーバーコンソールの起動) クリックします。

Windows オペレーティングシステムを実行しているシステムでは、OMSA ウェブサーバーコンソールがデフォルトのブラウザで起動されます。Linux オペレーティングシステムを実行しているシステムでは、OMSA ウェブサーバーコンソールが **\$OMNIBROWSER** 環境変数で設定されたブラウザアプリケーションで起動されます。

Web GUI から OMSA ウェブサーバーコンソールを起動するには、次の手順を実行します。

- 1 アクティブイベントリストにアクセスします。詳細については、[アクティブイベントリストへのアクセス](#)を参照してください。
- 2 **アクティブイベントリスト** で、Dell サーバーイベントを右クリックします。
- 3 表示されるオプションから、**Dell Tools** (Dell ツール) → **Launch Dell Server Administrator Web Server Console** (Dell Server Administrator ウェブサーバーコンソールの起動) とクリックします。OMSA ウェブサーバーコンソールがデフォルトのブラウザで起動されます。

EqualLogic Group Manager コンソールの起動

Dell OpenManage Connection では、監視している EqualLogic システムについてより多くの情報を取得するため、EqualLogic Group Manager コンソールを起動することが可能になります。EqualLogic Group Manager コンソールは、デスクトップイベントリスト、または Web GUI のアクティブイベントリストから起動できます。

デスクトップイベントリストから EqualLogic Group Manager コンソールを起動するには、次の手順を実行します。

- 1 デスクトップイベントリストにアクセスします。詳細については、[デスクトップイベントリストへのアクセス](#)を参照してください。
- 2 イベントリスト で、EqualLogic イベントを右クリックします。
- 3 表示されるオプションから、**Dell Tools** (Dell ツール) → **Launch Dell EqualLogic Group Manager Console** (Dell EqualLogic Group Manager コンソールの起動) と選択します。

Windows オペレーティングシステムを実行しているシステムでは、EqualLogic Group Manager コンソールがデフォルトのブラウザで起動されます。Linux オペレーティングシステムを実行しているシステムでは、EqualLogic Group Manager コンソールが **\$OMNIBROWSER** 環境変数で設定されたブラウザアプリケーションで起動されます。

Web GUI から EqualLogic Group Manager コンソールを起動するには、次の手順を実行します。

- 1 アクティブイベントリストにアクセスします。詳細については、[アクティブイベントリストへのアクセス](#)を参照してください。
- 2 アクティブイベントリスト で、Dell EqualLogic イベントを右クリックします。
- 3 表示されるオプションから、**Dell Tools** (Dell ツール) → **Launch Dell EqualLogic Group Manager Console** (Dell EqualLogic Group Manager コンソールの起動) と選択します。

EqualLogic Group Manager コンソールがデフォルトのブラウザで起動されます。

デスクトップイベントリストへのアクセス

デスクトップイベントリストにアクセスするには、次の手順を実行してください。

- 1 **スタート** → **プログラム** → **NETCOOL Suite** (NETCOOL スイート) → **Event List** (イベントリスト) の順にクリックします。
- 2 **Netcool/OMNibus Windows** イベントリスト にログインします。
- 3 イベントリスト ウィンドウで、**All Events** (すべてのイベント) タブの **Show Sub-Event List** (サブイベントリストの表示) をダブルクリックします。
イベントリスト が表示されます。

アクティブイベントリストへのアクセス

アクティブイベントリストにアクセスするには、次の手順を実行してください。

- 1 Web GUI にログインします。
- 2 左パネルで、**Availability** (可用性) → **Events** (イベント) → **Active Event List (AEL)** (アクティブイベントリスト (AEL)) とクリックします。
アクティブイベントリスト が表示されます。

トラブルシューティング

本項では、IBM Tivoli Netcool/OMNIBus 向け Dell OpenManage Connection の使用中に発生する可能性のある問題を挙げています。

Dell サーバーイベントが Netcool/OMNIBus コンソールで受信されない

- SNMP プローブのルールファイルに、次のエントリが含まれていることを確認します。
 - `include "$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap/dell/dell.master.include.rules"`
 - `include "$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap/dell/dell.master.include.lookup"`
- **dell.master.include.lookup** ファイルに、次のエントリが含まれていることを確認します。
 - `include "$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap/dell/dell-MIB-Dell-10892.include.snmpttrap.lookup"`
 - `include "$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap/dell/dell-StorageManagement-MIB.include.snmpttrap.lookup"`
- **dell.master.include.rules** ファイルに、次のエントリが含まれていることを確認します。
 - `include "$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap/dell/dell-MIB-Dell-10892.include.snmpttrap.rules"`
 - `include "$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap/dell/dell-StorageManagement-MIB.include.snmpttrap.rules"`

Dell EqualLogic イベントが Netcool/OMNibus コンソールで受信されない

- SNMP プロブのルールファイルに、次のエントリが含まれていることを確認します。
 - `include "$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap/dell/dell.master.include.rules"`
 - `include "$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap/dell/dell.master.include.lookup"`
- **dell.master.include.lookup** ファイルに、次のエントリが含まれていることを確認します。
 - `include "$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap/dell/equalLogic-EQLMEMBER-MIB.include.snmpttrap.lookup"`
 - `include "$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap/dell/equalLogic-EQLDISK-MIB.include.snmpttrap.lookup"`
- **dell.master.include.rules** ファイルに、次のエントリが含まれていることを確認します。
 - `include "$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap/dell/equalLogic-EQLMEMBER-MIB.include.snmpttrap.rules"`
 - `include "$NC_RULES_HOME/include-snmpttrap/dell/equalLogic-EQLDISK-MIB.include.snmpttrap.rules"`

Dell OpenManage Server Administrator イベントが関連されない

次のトリガが Netcool/OMNIbus ObjectServer で有効になっていることを確認します。

- dell_omsa_clear
- dell_omsa_deduplicate_clear

Dell EqualLogic イベントが関連されない

次のトリガが Netcool/OMNIbus ObjectServer で有効になっていることを確認します。

- dell_equallogic_clear
- dell_equallogic_deduplicate_clear

Web GUI 統合のインポート中のエラー

Dell OpenManage Connection を ObjectServer にインポートした後、Web GUI サーバーを再起動します。

CGI スクリプトを使用した OMSA コンソールの起動での問題

- Web GUI サーバーに Perl が正しくインストールされていることを確認します。詳細については、[Dell OpenManage Server Administrator コンソールの起動](#)を参照してください。
- CGI スクリプト機能を有効にするための前提条件については、OMNIbus の CGI スクリプトマニュアルを参照してください。

Windows での MTTrapd プロブ再起動の問題

次のファイルの末尾にコメントテキスト（存在する場合）がないことを確認します。

- dell.master.include.lookup
- dell.master.include.rules

関連文書およびリソース

本章では、IBM Tivoli Netcool/OMNIBus 向け Dell OpenManage Connection の操作に役立つマニュアルおよびリソースの詳細を説明します。

その他の必要マニュアル

このガイド以外にも、デルサポートサイト support.dell.com/manuals から次のガイドを入手できます。 **Manuals**（マニュアル）ページで、**Software**（ソフトウェア）→ **Systems Management** をクリックします。右側の製品リンクをクリックすると、その製品に関するドキュメントにアクセスできます。

- 『Dell OpenManage Installation and Security ユーザーズガイド』
- 『Dell OpenManage Server Administrator ユーザーズガイド』
- 『Dell OpenManage Server Administrator 互換性ガイド』
- 『Dell OpenManage Server Administrator メッセージリファレンスガイド』
- 『Dell OpenManage Server Administrator コマンドラインインタフェースユーザーズガイド』
- 『Dell OpenManage With VMware ESX/ESXi 4 システム管理ガイド』
このガイドにアクセスするには、support.dell.com/manuals で、**Software**（ソフトウェア）→ **Virtualization Solutions**（仮想化ソリューション）→ **VMware Software**（VMware ソフトウェア）とクリックします。

本書で使用される用語についての情報は、support.dell.com/manuals で用語集を参照してください。

テクニカルサポートの利用方法

米国にお住まいの方は、800-WWW-DELL（800-999-3355）までお電話ください。



メモ：お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

テクニカルサポートについての情報は、www.dell.com/contactus にアクセスしてください。

さらに、Dell エンタープライズのトレーニングおよび資格認証も www.dell.com/training でご利用いただけます。

付録

EqualLogic 警告相関

次の EqualLogic 警告は、警告相関をサポートしています。

- DiskStatus
- TempSensorThreshold
- FanSpeedThreshold
- PowerSupplyFan
- PowerSupply

これらの警告は、Dell 自動トリガを使用して IBM Tivoli Netcool/OMNibus 上で関連付けられます。警告は最新のステータスと共に Netcool/OMNibus コンソールに表示されます。例えば、Netcool/OMNibus コンソール上で、**DiskStatus** 警告は最新のステータスと共に表示され、以前の **DiskStatus** 警告はすべてクリアされます。

